

# 2011年11月7日経営会議の概要

日時：2011年11月7日（月） 午前9時～午前10時15分

会場：市長公室

委員・幹事：市長、鷺北副市長、加藤副市長、教育長、政策経営部長、総務部長、財務部長、政策経営部経営改革室長、政策経営部広報担当部長、政策経営部秘書課長、政策経営部広報課担当課長、総務部総務課長、総務部法制課長、財務部財政課長

説明：議題1 環境資源部長、環境総務課課長補佐

議題2 上下水道部長、上下水道総務課長、上下水道総務課担当課長、工務課長、業務課長、水質管理課長、水再生課長

議題1：町田市役所の新環境マネジメントシステムへの転換について

（環境資源部）

## 【付議の目的】

ISO14001規格に基づいて構築した現行の環境マネジメントシステム（以下、「EMS」という）から温暖化対策の諸制度、第二次環境マスタープラン、各課の環境配慮に関する取り組みを総合的に管理するための町田市役所独自の新EMSに発展的に移行することについて、承認を受ける。

## 【提案の概要】

町田市では本庁舎やその周辺庁舎等を対象にISO14001規格に基づくEMSを運用し、省エネ・省資源など環境負荷低減に一定の成果をあげてきた。しかし、法律の改正や施行により、これまでのEMSの適用範囲外となる組織・施設でもエネルギー使用量や温室効果ガス排出量の管理が求められるなど、更なる温暖化対策の強化が必要となっている。

そのため、ISO14001規格に基づいて構築した現行のEMSを見直し、独自の新EMSに転換することで、町田市役所としての環境負荷低減の効果を高めるとともに、事務負担の軽減や審査費用等の経費削減を図る。

## 【主な意見】

- 独自の新EMSにおいて、評価の客観性や透明性を確保するため、評価委員会のメンバー選定や審査基準に十分留意しておく必要がある。

## 【会議結果】

提案内容を承認する。上記意見に留意した上で進めていくこと。

**【付議の目的】**

町田市下水道ビジョン（最終案）の承認を受ける。

**【提案の概要】**

下水道事業は、2013 年度には市街化区域の汚水整備が概ね完了し、今後は整備優先の考え方から効率・安定化に重点を置いた経営に方針転換する必要があること、処理場の改築更新時期が間近に迫っていることなど、ここ数年間で大きな転換点を迎える。このような状況の中で、概ね 30 年先の長期的な下水道事業の方向性を定める「町田市下水道ビジョン」と、2012 年度から 5 年間の事業の優先順位を定める「町田市下水道アクションプラン」を策定する。これにより、財政を見据えた長期的な方向性を定め、下水道の効率的な整備と管理、安定的な経営を目指す。

**【主な意見】**

- 下水道ビジョン第 4 章の文章表現における、論理の一貫性について、再度確認しておく必要がある。

**【会議結果】**

提案内容を承認する。上記意見に留意した上で進めていくこと。